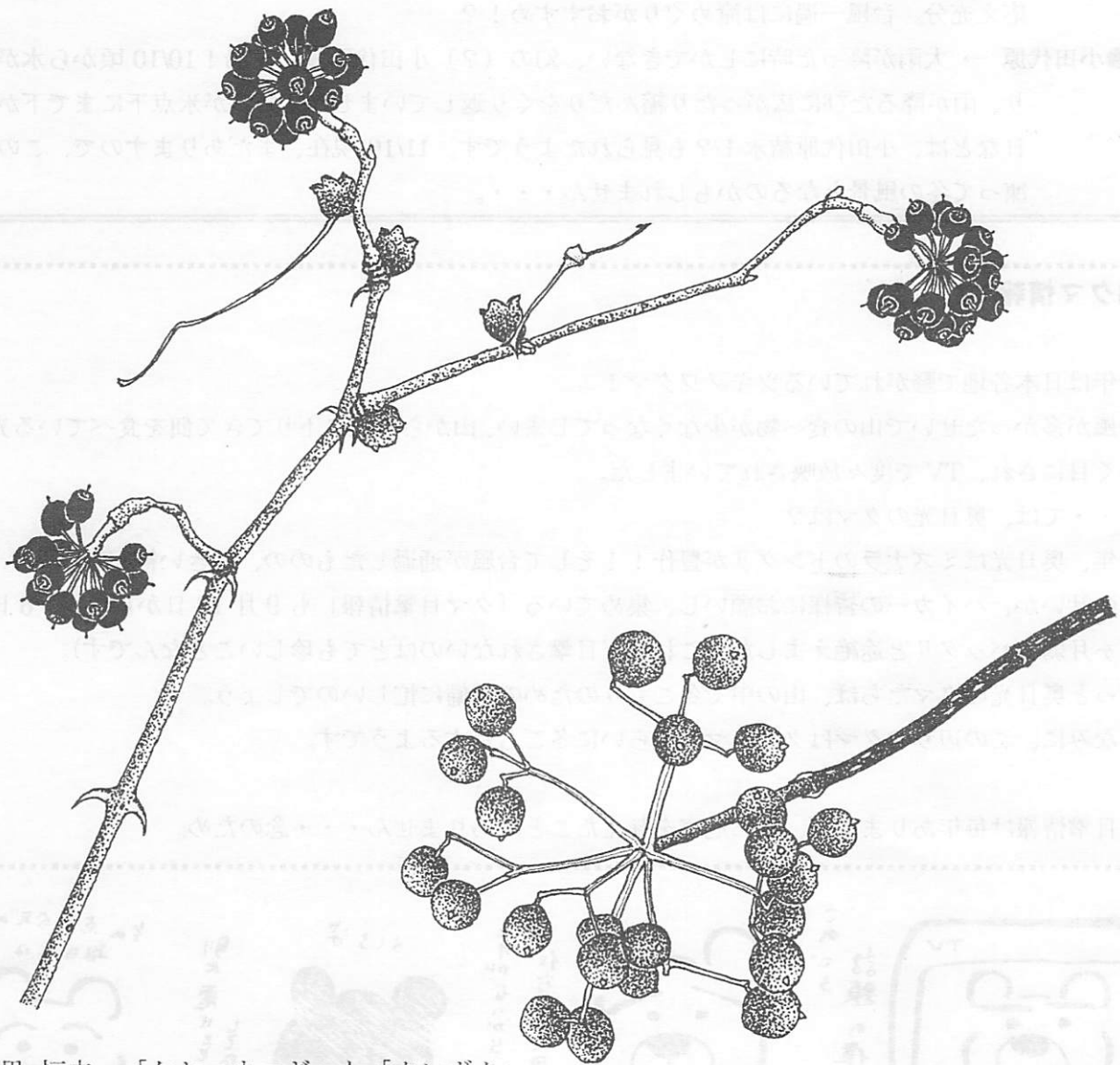


楓 通 信 . 5 4



画：中里 恒夫 「ケヤマウコギ」と「カンボク」

目次 2, 3... 自然情報 4... 交通・トイレ情報 5... ニュース・イベント報告 6... スキー情報・
日光の催し 7... 随筆・表紙の話 10~15... イベント要項 16... その他 etc...

**日光湯元ビジターセンター
奥日光の情報誌 No.54**

2004. 11. 19
年6回発行・一部100円
年間購読料 1000円
(6回分送料込み)

年間購読のお申し込みは、氏名・住所・電話番号を明記の上、郵便振替にて自然公園財団宛に購読料をお支払いください。

(年途中からでもどうぞ!)

振替 No. 00370-3-7232

環境省 NIKKO NATIONAL PARK
日光湯元ビジターセンター

〒321-1662 栃木県日光市湯元

TEL 0288-62-2321 FAX 0288-62-2378

<http://www.bes.or.jp/nikko/vc/>

自然情報

台風過ぎて

たびかさなる台風。皆様の周りではいかがでしたか。奥日光では「少し雨が強く降ったかな」という日があった程度で、それほどの大被害はありませんでした。が、あちらこちらの様子がちょっと・・・？

●滝 → 湯滝・華厳の滝をはじめ、奥日光の各滝は水量を増し、かなりの迫力に！特に台風の翌日は見応え充分。台風一過には滝めぐりがおすすめ！？

●小田代原 → 大雨が降った時にしかできない、幻の(?)小田代原湖が登場！10/10頃から水が溜まり、雨が降るたびに広がったり縮んだりをくり返していました。気温が氷点下にまで下がった日などは、小田代原結氷！？も見られたようです。11/16 現在、まだありますので、このまま凍って冬の風景となるのかもしれません・・・。

■クマ情報 ■

今年は日本各地で騒がれているツキノワグマ！

台風が多かったせいで山の食べ物が少なくなってしまう、山から人里に下りてきて餌を食べている光景が多く目にされ、TVで度々放映されていました。

・・・では、奥日光のクマは？

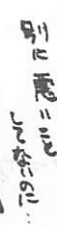
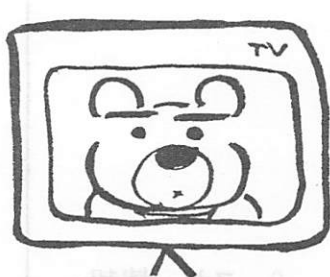
今年、奥日光はミズナラのドングリが豊作！！そして台風が通過したものの、大きい被害はなし！

そのせいか、ハイカーの皆様にお願ひし、集めている「クマ目撃情報」も9月18日から11月6日の約2ヶ月弱、パッタリと途絶えました（これほど目撃されないのはとても珍しいことなんです）。

きっと奥日光のクマたちは、山の中で冬ごもりのための準備に忙しいのでしょう。

ちなみに、この辺りのクマはクリスマスぐらいに冬ごもりするようです。

※目撃情報は毎年ありますが、人に危害を与えたことはありません・・・念のため。



2004年の気温 (℃)

※日光観光協会 POPAI より

期間	時間	湯元	戦場ヶ原	菖蒲ヶ浜	東照宮
1月の平均	9:00a.m.	-5.2	-7.9	-6.7	-2.0
	13:00p.m.	-2.2	-2.9	-0.7	3.8
2月の平均	9:00a.m.	-5.4	-6.4	-5.0	0.2
	13:00p.m.	0.2	0.2	1.5	6.2

2005 日の出入り (宇都宮)

	1/1	2/1
出	6:52	6:42
入	16:36	17:06

※国立天文台ホームページより

流星情報

☆ふたご座流星群

十二／一四～一五（ピーク）

月明かりもなく好条件。深夜～夜明け前が見やすい。

☆しぶんぎ座（りゅう座）流星群 二〇〇五年 一／三～四（ピーク）

こちらにも比較的多く流れ、見やすいです。

冬芽の色、色々

冬の植物観察ができる季節になってきました。樹木によって様々な冬芽。

ここでは、ちょっと特徴的な“色”を持つ冬芽を見てみましょう。

虫めがねを持って、さあ、樹木ウォッチングに出発！

コミネカエデ
などのカエデの仲間

真赤な枝先に
真赤な冬芽



ニシキギ

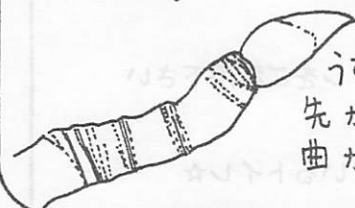


芽をのこす鱗（芽鱗）は
茶と緑の2色うかい！



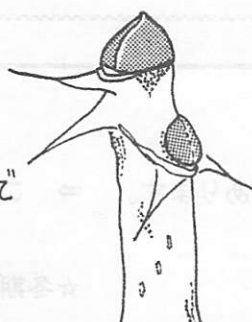
タカノツメ

うすみどり色で
先がとがり、
曲がっている



ハリギリ

紫色がかた
黒びかり！

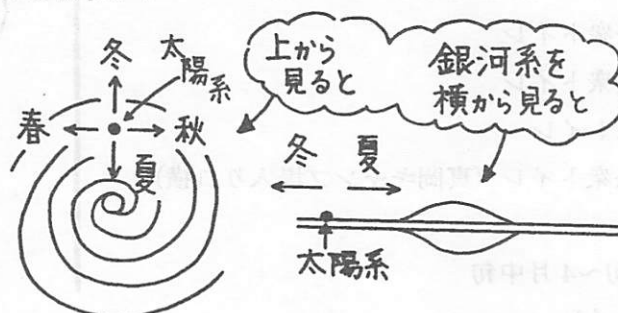


☆☆冬の天の川☆☆☆

「天の川」と言えば七夕を思い出し、イメージは「夏」ですよね。奥日光のような、人工の灯りが少なく、空気の澄んだ高地なら、太く、はっきりと見るができます。ところで、冬の天の川を見たことがありますか？実は私も意識をして見たことがないので、今冬はチェックしてみようと思います。天の川は一年中見られるのですが、冬の天の川が話題にならないのはなぜでしょう？

我々の住む地球は銀河系の中でも端に位置しており、夏は銀河系の中心方向を見るので、太く、はっきりと見えますが、冬は星が比較的少ない方角を見ることになるので、夏のように話題にならないのです。

それでも、1年の内でいちばん天の川がはっきりしないのは「秋」とのこと。ならば、今シーズンは冬の天の川探しにチャレンジしてみてもは如何でしょうか？



交通情報

道路の冬期閉鎖

以下の日程は予定です。雪の状況によって毎年変動があるので、微妙な時期は事前に確認をして下さい。

- ・ 中宮祠足尾線（旧中禅寺湖スカイライン） 12/1～4/20 【栃木県日光土木事務所 0288-53-1211】
- ・ 金精道路 12/25～4/25 【同上】
- ・ 山王林道（奥鬼怒林道） 12/15～4月下旬 【栃木県日光治山事務所 0288-54-0539】

各種交通機関の営業期間

- ・ 低公害バス ～11/30 【日光自然博物館 0288-55-0880】
- ・ 日光白根山ロープウェー → スキー場としての運行となっています
【丸沼高原総合案内 0278-58-2211】
- ・ 中禅寺湖遊覧船 ～11/30 【船の駅中禅寺 0288-55-0360】

トイレ情報

奥日光では、冬の間、利用できない公衆トイレがあります。 ⇒ こちらのトイレをご利用下さい

☆冬期閉鎖期間☆

●11月下旬～4月下旬

湯ノ湖畔公衆トイレ

中宮祠足尾線（旧中禅寺湖スカイライン）公衆トイレ

●12/1～3/31

明智平公衆トイレ

歌ヶ浜公衆トイレ

二荒山神社（中宮祠）東脇公衆トイレ

華嚴滝駐車場公衆トイレ

●12/1～4月下旬

西6番園地公衆トイレ

赤沼公衆トイレ（赤沼情報センター横）

小田代原公衆トイレ

千手ヶ浜公衆トイレ

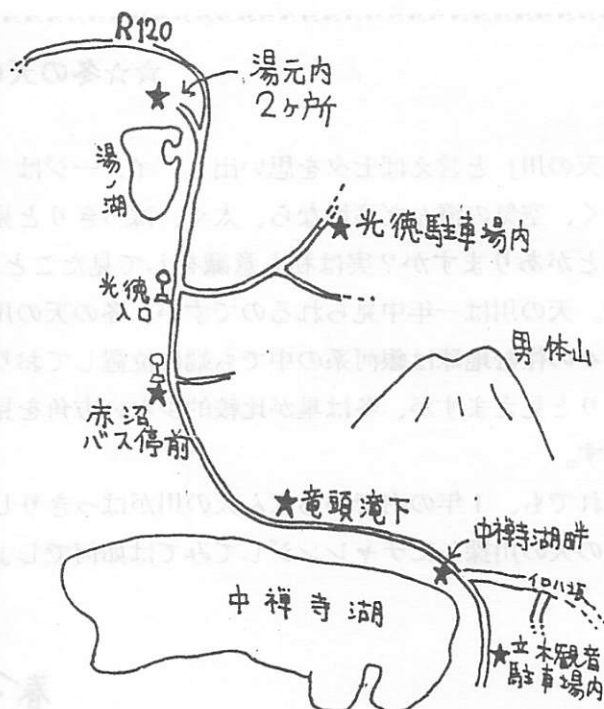
三本松公衆トイレ

光徳第2公衆トイレ（真岡キャンプ場入り口横）

●12月上旬～4月中旬

湯滝公衆トイレ

☆冬期でも開いているトイレ☆



ニュース

霧降高原スキー場 今冬から休業

夏のニッコウキスゲで有名な日光・霧降高原。冬季はスキー場として営業をしていましたが、経営不振のため、今冬よりスキー場としての営業は休止することです。夏季は例年通り4月～リフト利用可能です。

外来種水草「コカナダモ」除去と湖畔清掃 報告

10月29日、湯ノ湖で繁殖している外来種の水草「コカナダモ」の人力除去と湖畔清掃が実施されました。コカナダモは、水中の窒素やリンを吸収して増殖するため、水質の浄化機能がありますが、枯れてしまうと湖底に堆積し、水質汚濁の原因となってしまいます。そこで、奥日光清流清湖保全協議会と湯の湖・中禅寺湖をきれいにする会では、水質保全対策の一環として、コカナダモの人力除去と湖畔清掃を行いました。

今回の成果は、コカナダモ5.19t、可燃ごみ4袋、不燃ごみは、ビン、カン等3袋、鉄くず1袋にもなりました。

⇒日光市と奥日光清流清湖保全協議会では、「日光環境シンポジウム」を開催します。

平成16年12月19日（日）13時30分～16時45分

日光市総合会館ホール

テーマ： 日光観光の蘇生と再生 “故き流れを未来へ”



“あんよのゆ” 冬季閉鎖

今年もたくさんの方に御利用いただいた湯元内の足湯は、11月いっぱいまで冬休みに突入！雪がとけて、また5月になったら再開します。

イベント報告

日光高原歩道見晴台ハイキング 11/3（水・祝）

夜来の雨もあがり、稲荷川広場には薄日も差しているが、残念ながらここ集合場所から見えるはずの日光連山は雲の中。

今年は遅れ気味の紅葉が今丁度盛りを迎え、赤や黄色の鮮やかな色彩を愛でながら、ユックリ、ユックリ見晴台目指して歩きました。

昼食場所の見晴台から見えるはずの日光連山や南側の山々は、あいにくと雲の中でした。しかし、黄金色に輝きながらパラパラ落ちるカラマツの葉を全身に受けながらのハイキングもまた楽しいものです。帰りがけには、稲荷川上流の登録有形文化財に指定された釜ッ沢砂防堰堤や日本で3番目に大きい日向砂防ダムを見学し、紅葉の美しい稲荷川左岸の道を戻りました。

秋の午後

10/10・16・23（土、日）

10月の土、日（13:00～15:00）に行われたプチ自然体験イベント。湯元内で実際に見られるものの観察と、自分達の五感や頭を使つての感察。それぞれ、植物のタネ、トリ、五感をテーマに、わいわい楽しみながら、でも最後には「なるほど」、と思わせる内容でした。美しい紅葉に隠されがちな、自然の中の巧妙な関わり合い・したたかな生命たち・・・、そして小さな発見と気づき。自然の中って、そういう目でみると、小さいものから大きいものまで、本当にたくさんのドラマで溢れているんだ！ということ、少しは感じ取っていただけたでしょうか。

スキー場情報

※霧降高原スキー場は今期より休業となりました。

場所	期間(予定)	問合せ先
丸沼高原	～ゴールデンウィーク明け	【丸沼高原総合案内 0278-58-2211】
光徳XC	12月中旬～3月雪がなくなるまで	【日光アストリアホテル 0288-55-0585】
菖蒲ヶ浜	12/22(水)～3/5(土)頃	【日光プリンスホテル 0288-55-1111】
日光湯元	12/18(土)～3/31(木)	【東武興業 日光事務所 0288-53-0900】
		【日光湯元ロッヂ(シーズン中のみ) 0288-62-2532】

12/18(土)	オープン日・リフト無料開放
1/1(土)	餅つき大会
1/16(日)	雪だるま作り大会
1/23(日)	スノーボードの日

湯元スキー場では、
今年も様々なイベントや特典があります。
誕生日当日の方にはリフト券サービスも！

日光の催し

■子供強飯式

11/25(木) 10:00～

【問：日光観光協会】

七里・生岡神社

■「中禅寺湖の××を見てみよう！」

11/27(土)

【問：日光自然博物館 0288-55-0880】

千手ヶ浜と??

■除夜祭

12/31(金)

【問：日光東照宮・日光二荒山神社】

日光東照宮・二荒山神社本社

■歳末会

12/31(金) 採灯大護摩供 23:45～

【問：日光山輪王寺】

輪王寺三仏堂前

二社一寺では大晦日から年明けまで、様々な行事を行います。

■初詣

1/1(土) 00:00～

■外山毘沙門天縁日

1/3(月) 00:00～

【問：日光山輪王寺】

外山毘沙門天堂(外山山頂)

■武討祭

1/4(火) 10:00～

【問：二荒山神社中宮祠】

二荒山神社中宮祠

■節分追儺式

1/25(火) 11:00～

【問：立木観音堂】

湯元温泉寺

■節分

2/3(木)

二社一寺では豆まきやガラまきを行います。
11:20から、場所を変えて全5回。

各問合せ先 (市外局番 0288)

日光東照宮	/	54-0560
日光二荒山神社	/	54-0535
日光山輪王寺	/	54-0531
立木観音堂	/	55-0013
二荒山神社中宮祠	/	55-0017
日光観光協会	/	54-2496
日光市観光商工課	/	53-3795

湯元の催し

雪たっぷりの湯元温泉では、冬こそ盛り上がる催したくさん！詳細は次号でお知らせします。

○雪灯籠祭り 2月4日(金)～

昨年好評だった雪灯籠を、2月4日より毎週金・土曜日の夜に灯します。

○第4回スノーシュー ネイチャー・ツアー 2月26日(土)

○第2回スノーシューレース 2月27日(日)



林間独坐

～先人の汗・保晃会のこと～

森 秀夫

この12月4日、日光国立公園はめでたく誕生70周年を迎える。

指定されたのは昭和9年12月4日。この年は、日光のほか瀬戸内海や雲仙、大雪山など全部で8つの国立公園が指定されている。これらは皆、日本の国立公園の草分けであった。

指定された時、地元は大変な喜びようで、ところによっては提灯行列も行われたという。

当時は、それだけ国立公園に対する期待が大きかったのだろう。

特に日光ではこの指定を歓迎する格別の理由があった。…というのは、日光ではすでにかかなり以前から国立公園誘致の草分けとも言える動きがあったからである。それは、明治8年まで遡る。

- 明治初期、それまで聖地として崇められていた日光山内地区は、徳川政権の崩壊により事情が一変、さらに4年の神仏分離令がそれに追い討ちをかけ、見るも無残な姿に荒れ果ててしまった。この状況に憂慮した地元の有志達は、明治8年これを守るべく活動を開始、明治12年7月、日光を訪れた伊藤博文ら政府要人に対し“この日光を国で守ってほしい”旨の嘆願を行った。これに対し政府からは“新政府樹期にあり、今は対策はとれない”旨の回答があったが、その後、内務省は地元で結成された保護団体“保晃会”に対し修理や保護のための予算を与えて会の活動を積極的に援助した。
 - これに勇気付けられた有志たちは、より積極的に日光山内地区の堂宇と周辺一帯の保存活動に乗り出した。
 - その後、明治42年になって、今度は日光町長から日光を帝国公園に指定すべしとの請願が帝国議会に提出された。帝国公園には指定されなかったが、それは、昭和9年12月の「日光国立公園」という新たな制度で実現されたのである。
 - 前述の保晃会の活動は、“国の代表的な美しい地域は国が管理すべし”とする現在の国立公園の主旨と合致するものであり、また、地元民から起こったその活動は現代の“ナショナルトラスト運動の先駆け”とも言え、これらが明治の初期の時代に日光で行われていたことは驚嘆にも値する。
- 指定70周年を期に、私たちは、もう一度先人の勇気と偉大さに敬服しなければならない。

表紙の話

今回は、ケヤマウコギとカンボクの実。

黒い小さな実がたくさん集まった、トゲトゲのケヤマウコギは、春や夏よりもむしろ、冬の姿の方が目立つ気がします。枝についているチューリップ型(?)のコブは、虫こぶ。中に虫の子供などが住んでいます。あまりにも自然なその姿、うっかり植物そのものの一部だと思ってしまいそうですね。カンボクは、赤く目立つ実のわりには、冬になってもいつまでも枝に残っているので、これまた真っ白い風景の中でとても目立つ存在です。こんなに目立つのに、トリは食べに来ないのかなあ、と思っていたら、なんでもトリ好みの味ではないとか・・・？本当でしょうか？



日光湯元ビジターセンター 2004年9・10月の催し

不思議な森の世界へ ～親子で感じる奥日光の秋～

夏の賑やかな雰囲気もそろそろ落ち着き、少し静けさを取り戻した森の中。五感をフルに使って、秋ならではの自然を楽しんでみませんか。ファミリー向け企画です。(個人参加不可)

日 時：9月25日(土) 10:00～15:30

場 所：湯滝の森

集 合：湯滝駐車場 ※お車の方は駐車料金ががかかります。

参加費：大人800円/小・中学生500円/未就学児200円

人 数：20名 ※申込締切日 9月11日(土)

タネ三昧! 湯元・湯ノ湖ツアー

なんとなく秋らしくなってきた奥日光で“タネ”の魅力に迫って見ませんか。植物の知恵にびっくり! 感心! 面白い!

※この催しはたくさん歩くハイキングが目的ではありません。

日 時：9月28日(火) 10:00～15:30

場 所：湯元・湯ノ湖畔

集 合：日光湯元ビジターセンター

参加費：大人800円/小・中学生500円

人 数：20名 ※申込締切日 9月14日(火)

じっくり! びっくり!! ニホンシカ!!!

～シカを通して奥日光を見てみよう～

シカ初心者向けです。難しい研究発表等ではありません。

日 時：10月2日(土) 13:30～3日(日) 12:00

場 所：湯元・湯滝付近のシカ柵など

集 合：日光湯元ビジターセンター

参加費：大人1500円/小・中学生1000円 ※別途、宿泊費

人 数：15名(小学4年生以上) 最低催行人数8名

※要予約。個人参加不可。定員になり次第締め切り

水の旅 ～荒沢水源～ (全行程12km)

「水はどこから来るの?」・・・いつも何気なく使っている水は一体どこで生まれるのでしょうか。紅葉の中“水の旅”に想いをめぐらせ、荒沢川の水源を訪ねます。

日 時：10月24日(日) 8:45～16:00

場 所：荒沢川上流

集 合：裏見滝無料駐車場

参加費：大人800円/小・中学生500円

人 数：20名 ※申込締切日 10月10日(日)

秋の午後

↑
7/25～受付開始
↓

ビジターセンタースタッフが秋の楽しみ方をあれこれご紹介。こんな楽しみ方もできるんだ! と、自然の中でわくわくできることうけあい!

日 時：10/9(土) タネ三昧! (種子散布を易しく楽しく学びます)

10/16(土) 森の不思議体験! (五感を使って自然を満喫)

10/23(土) 秋の湯元でバードウォーキング(身近な鳥ウツギ)

10/30(土) 葉っぱで遊ぼう(落ち葉で感性を鍛えましょう)

各13:00～15:00

場 所：湯元周辺

集 合：日光湯元ビジターセンター

参加費：大人500円/小・中学生300円

人 数：先着順 各10名 ※要予約。定員になり次第締め切り

●お申込方法●

- ・はがき、ファックス、電話などにて各締切日必着でお申込下さい。
- ・応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。(“秋の午後”と“じっくりシカ”は先着順)
- ・締切日後のお申込は、お電話にてお問い合わせ下さい。空きがある場合はご参加頂けます。

開館時間

月～金・日曜日 9:00～16:30

土曜・休前日 9:00～17:30

※水曜休館 ※10月無休

9月

日	月	火	水	木	金	土
			1 休館日	2	3	4
5	6	7	8 休館日	9	10	11
12	13	14	15 休館日	16	17	18
19	20	21	22 休館日	23	24	25 不思議な森へ
26	27	28 タネ三昧 湯元ツアー	29 休館日	30		



10月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2 じっくりシカ ⇒
3	4	5	6	7	8	9 秋の午後
10	11	12	13	14	15	16 秋の午後
17 中禅寺湖 学	18	19	20	21	22	23 秋の午後
24 水の旅	25	26	27	28	29	30 秋の午後
31						



(財)自然公園財団 日光支部
環境省 日光湯元ビジターセンター
〒321-1662 栃木県日光市湯元
TEL 0288-62-2321 FAX 0288-62-2378
<http://www.bes.or.jp/nikko/vc/>



鳥シリーズ第4弾 「はじめよう!! カモ・カラ!!!」

11/28 (日)

受付開始

西暦記念スペシャル ビギナー向け 新春バード・ウォッチング

●このイベントは一般的な探鳥会とは違い、数多くの種類の鳥や珍しい鳥を見るものではありません。

当センター周辺で普通に見られる鳥にスポットを当てて、「じっくり見ることで分かってくる“楽しさ”や“発見”」をテーマに進める予定です。

主 催：(財) 自然公園財団 日光支部

日 時：平成17年1月15日 (土) 10:00～15:00
(9:45より受付開始)

集合場所：日光湯元ビジターセンター
(活動場所もビジターセンター周辺を予定)

募集人数：20名

参加費：大人 500円 / 小・中学生 300円

スケジュール

9:45 受付開始

10:00 開会

「カラ・ケラ探し」 ●カラ類・キツツキ類など、森の鳥を中心に進めます。

★カラ類の冬の鳴き声にも注目

12:00 昼食

13:00 「カモ探し」 ●カモ類・カワガラスなど、水辺の鳥を中心に進めます。

15:00 閉会、解散



持ち物：弁当、水筒 (温かい飲み物)、おやつ、敷物、リュック、双眼鏡 (貸し出しも可)

服装：帽子、手袋、防寒着、長靴等の濡れにくい靴

*服装は濡れにくいもの (一番外はレインウェア等) が良いでしょう。温度調節のできる重ね着が便利です。

申込方法：はがき、電話、FAXにて次の事項をご連絡下さい。

①お申込のイベント名 ②氏名 ③年齢 ④性別 ⑤住所 ⑥電話番号 (あればFAX番号)

⑦集合場所までの交通手段 ⑧この催しを何で知ったのか

☆催行人数は5人以上です。応募者が少ない場合は中止とさせていただきますので、ご了承下さい。

1月8日 (土) に催行を判断いたします。

☆平成16年11月28日 (日) より受付開始です。定員になり次第締め切らせていただきます。

その他

・小雪決行、荒天中止です。荒天が見込まれる場合は、前日に中止のご連絡をします。

・当日の状況によりスケジュール等を変更する場合があります。ご了承下さい。例年、この時期

は湯ノ湖の約7割が結氷し、カモ類が少ない水面を求めて集まるため観察しやすくなります。

結氷部が少ない場合は見つらなくなる可能性も考えられます。

・予約のキャンセルをされる場合は、お早めにご連絡下さい。

・参加中の怪我などについては基本的に参加者の責任となります。

(財) 自然公園財団 日光支部 環境省 日光湯元ビジターセンター

〒321-1662 栃木県日光市湯元 TEL 0288-62-2321 FAX 0288-62-2378

<http://www.bes.or.jp/nikko/vc/>

切込刈込湖スノーシューハイキング

積雪期のみ訪れることができる蓼ノ湖や旧林道をスノーシューで歩きます。

一味違った冬の奥日光をお楽しみ下さい

11/28 (日)

受付開始

主 催：(財) 自然公園財団 日光支部

日光パークボランティア活動運営協議会

日 時：平成17年1月23日 (日) 9:00～16:00
(8:45より受付開始)

集合場所：日光湯元ビジターセンター

募集人数：20名 (小学校高学年以上)

参加費：大人 1000円 / 小・中学生 800円 (レンタル料別途※)

スケジュール

- 8:45 受付開始
- 9:00 開会 (コース説明他)
- 9:15 出発 湯元ビジターセンター～蓼ノ湖～小峠～刈込湖～小峠～林道～湯元ビジターセンター
- 16:00 閉会、解散

持ち物：弁当、水筒、おやつ、敷物、リュック、(持っている方はスノーシュー、スパッツ、ストック、サングラス)

服 装：帽子、手袋 (できれば雪のつかない素材のもの)、防寒着、長靴等スノーシュー用の濡れにくい靴
*服装は濡れにくいもの (一番外はレインウェア等) が良いでしょう。歩くと暑く、休むと寒いので温度調節のできる重ね着が便利です。

申込方法：はがき、電話、FAXにて次の事項をご連絡下さい。

①お申込のイベント名 ②氏名 ③年齢 ④性別 ⑤住所 ⑥電話番号 (あればFAX番号)

⑦集合場所までの交通手段 ⑧この催しを何で知ったのか ⑨レンタルの要否

☆催行人数は5人以上です。応募者が少ない場合は中止とさせていただきますので、ご了承下さい。

1月16日 (日) に催行を判断いたします。

☆平成16年11月28日 (日) より受付開始です。定員になり次第締め切らせていただきます。

その他

- ・荒天中止です。荒天が見込まれる場合は、前日に中止のご連絡をします。
- ・当日の状況によりスケジュールやコース等を変更する場合があります。ご了承下さい。(雪不足のために中止となることもございます。中止は決まり次第こちらからご連絡いたします。)
- ・予約のキャンセルをされる場合は、お早めにご連絡下さい。
- ・参加中の怪我などについては基本的に参加者の責任となります。

※レンタル料はスノーシュー (必要な方はスパッツ、ストック込み) ￥1000です。

(財) 自然公園財団 日光支部

環境省 日光湯元ビジターセンター

〒321-1662 栃木県日光市湯元

TEL 0288-62-2321 FAX 0288-62-2378

<http://www.bes.or.jp/nikko/vc/>



雪の森へようこそ ～白い森での雪体験～

11/28 (日)

奥日光ではとてもたくさんの雪が降ります。こんなに雪があるの！？と驚くかもしれません。そんな雪の森に遊びに来ませんか？雪がある場所ならではの楽しみ方を教えちゃいます。

たっぷりの雪で、思う存分遊びましょう！

主 催：(財) 自然公園財団 日光支部

日光パークボランティア活動運営協議会

日 時：平成17年1月30日 (日) 10:00～15:30

(9:45より受付開始)

集合場所：日光湯元ビジターセンター

募集人数：15名

参加費：大人 1000円 / 小・中学生 800円 (レンタル料別途※)

スケジュール

9:45 受付開始

10:00 開会

湯元ビジターセンター～雪の森へ移動～自然体験～昼食～自然体験～湯元ビジターセンター

15:30 閉会、解散

持ち物：弁当、水筒、おやつ、敷物、リュック、タオル、(持っている方はスノーシュー、スパッツ、サングラス)

服装：帽子、手袋 (できれば雪のつかない素材のもの)、防寒着、長靴等スノーシュー用の濡れにくい靴

*服装は濡れにくいもの (一番外はレインウェア等) が良いでしょう。歩くと暑く、休むと寒いので温度調節のできる重ね着が便利です。

申込方法：はがき、電話、FAXにて次の事項をご連絡下さい。

①お申込のイベント名 ②氏名 ③年齢 ④性別 ⑤住所 ⑥電話番号 (あればFAX 番号)

⑦集合場所までの交通手段 ⑧この催しを何で知ったのか ⑨レンタルの要否

☆催行人数は5人以上です。応募者が少ない場合は中止とさせていただきますので、ご了承下さい。

1月23日 (日) に催行を判断いたします。

☆平成16年11月28日 (日) より受付開始です。定員になり次第締め切らせていただきます。

その他

・荒天中止です。荒天が見込まれる場合は、前日に中止のご連絡をします。

・当日の状況によりスケジュールやコース等を変更する場合があります。ご了承下さい。(雪不足のために中止となることもございます。中止は決まり次第こちらからご連絡いたします。)

・予約のキャンセルをされる場合は、お早めにご連絡下さい。

・参加中の怪我などについては基本的に参加者の責任となります。

※レンタル料はスノーシュー (必要な方はスパッツ込み) ¥1000 です。ストックは使用しません。

(財) 自然公園財団 日光支部

環境省 日光湯元ビジターセンター

〒321-1662 栃木県日光市湯元

TEL 0288-62-2321 FAX 0288-62-2378

<http://www.bes.or.jp/nikko/vc/>



“雪上運動会” と “かまくら作り”

力を合わせて “あそぼう!!” “つくろう!!!”

11/28 (日)

受付開始

主 催：(財) 自然公園財団 日光支部

日光パークボランティア活動運営協議会

日 時：平成17年2月5日 (土) 10:00～15:30
(9:45より受付開始)

集合場所：日光湯元ビジターセンター

募集人数：30名 ご家族での参加、大歓迎!!!

参加費：大人 500円 / 小・中学生 300円

スケジュール

9:45 受付開始

10:00 開会

雪上運動会 ●動物の足で鬼ごっこ ●ビジターセンターから借り物競争 ●雪上二人三脚
●じっくりじっくり「ぬりえ」ゲーム 等を予定。

12:00 “やみ鍋” で昼食 (持ち寄った食材でどんな鍋ができるかな?)

13:00 かまくら作り (数家族で協力して、ひとつのかまくら作りを予定。)

15:30 閉会、解散

持 ち 物：弁当、水筒 (温かい飲み物)、おやつ、敷物、リュック、“やみ鍋” 用食材

服 装：帽子、手袋 (できれば雪のつかない素材のもの)、防寒着、長靴等濡れにくい靴

*服装は濡れにくいもの (一番外はレインウェア等) が良いでしょう。運動すると暑く、休むと寒いので温度調節のできる重ね着が便利です。

申込方法：はがき、電話、FAXにて次の事項をご連絡下さい。

①お申込のイベント名 ②氏名 ③年齢 ④性別 ⑤住所 ⑥電話番号 (あればFAX 番号)

⑦集合場所までの交通手段 ⑧この催しを何で知ったのか

☆催行人数は5人以上です。応募者が少ない場合は中止とさせていただきますので、ご了承下さい。

1月29日 (土) に催行を判断いたします。

☆平成16年11月28日 (日) より受付開始です。定員になり次第締め切らせていただきます。

そ の 他

- ・荒天中止です。荒天が見込まれる場合は、前日に中止のご連絡をします。
- ・当日の状況によりスケジュール等を変更する場合があります。ご了承下さい。(雪不足のために中止となることもございます。中止は決まり次第こちらからご連絡いたします。)
- ・予約のキャンセルをされる場合は、お早めにご連絡下さい。
- ・参加中の怪我などについては基本的に参加者の責任となります。



(財) 自然公園財団 日光支部

環境省 日光湯元ビジターセンター

〒321-1662 栃木県日光市湯元

TEL 0288-62-2321 FAX 0288-62-2378

<http://www.bes.or.jp/nikko/vc/>



11/28 (日)

受付開始

スノーシューで行く！親子で冬の森探検！！

1年の中で森が最も静かになる冬……。一見何も無いように見えますが……。本当にそうでしょうか？
実は冬の方が見やすい動物たちの生活の跡、そして厳しい冬を生き抜く動物たち！

ゆ〜っくり、の〜んびりと冬の森で新たな発見をして見ませんか？

主 催：(財)自然公園財団 日光支部

日光パークボランティア活動運営協議会

日 時：平成17年2月12日(土) 10:00～15:00

(9:45より受付開始)

集合場所：日光湯元ビジターセンター

募集人数：15名(原則、親子又は家族対象です)

参加費：大人 1000円 / 小・中学生 800円 (レンタル料別途※)

スケジュール

9:45 受付開始 集まり次第、ビジターセンターの車で湯滝に移動

10:00 湯滝にて開会

森へ移動～動物足跡&生活の跡 watching～昼食(泉門池予定)～自然観察(生き物たちの冬対策など)

14:30 まとめ、ふりかえり

15:00 閉会・解散

持ち物：弁当、水筒、おやつ、敷物、リュック、(持っている方はスノーシュー、スパッツ、ストック、サングラス)

服 装：帽子、手袋(できれば雪のつかない素材のもの)、防寒着、長靴等スノーシュー用の濡れにくい靴

※服装は濡れにくいもの(一番外はレインウェア等)が良いでしょう。歩くと暑く、休むと寒いので温度調節のできる重ね着が便利です。

申込方法：はがき、電話、FAXにて次の事項をご連絡下さい。

①お申込のイベント名 ②氏名 ③年齢 ④性別 ⑤住所 ⑥電話番号(あればFAX番号)

⑦集合場所までの交通手段 ⑧この催しを何で知ったのか ⑨レンタルの要否

☆催行人数は5人以上です。応募者が少ない場合は中止とさせていただきますので、ご了承下さい。

2月5日(土)に催行を判断いたします。

☆平成16年11月28日(日)より受付開始です。定員になり次第締め切らせていただきます。

その他

- ・荒天中止です。荒天が見込まれる場合は、前日に中止のご連絡をします。
- ・当日の状況によりスケジュールやコース等を変更する場合があります。ご了承下さい。(雪不足のために中止となることもございます。中止は決まり次第こちらからご連絡いたします。)
- ・予約のキャンセルをされる場合は、お早めにご連絡下さい。
- ・参加中の怪我などについては基本的に参加者の責任となります。

※レンタル料はスノーシュー(必要な方はスパッツ、ストック込み)¥1000です。

(財)自然公園財団 日光支部

環境省 日光湯元ビジターセンター

〒321-1662 栃木県日光市湯元

TEL 0288-62-2321 FAX 0288-62-2378

<http://www.bes.or.jp/nikko/vc/>



クロスカントリースキーで雪上ウォッチング（初級者向け）

午前中は基本的な歩き方を練習し、午後は思い切ってハイキングへ！！

雪の中で自然観察をしながら歩くスキーを楽しもう。

（クロスカントリースキーの技術習得のための教室ではありません）

主 催：（財）自然公園財団 日光支部

日光パークボランティア活動運営協議会

日 時：平成17年2月13日（日） 9：45～15：30

（9：30より受付開始）

集合場所：戦場ヶ原 三本松駐車場

募集人数：20名（小学4年生以上）

参加費：大人 1000円 / 小・中学生 800円 （レンタル料別途※）

スケジュール

9：30 受付開始

9：45 開会

基礎練習（三本松周辺）～11：30頃昼食～

12：30 三本松～光徳の平らなコースをハイキング

15：30 閉会、解散

持ち物：弁当、水筒、リュック、おやつ、敷物、（持っている方はクロカンセット、スパッツ、サングラス）

服 装：帽子、手袋（できれば雪のつかない素材のもの）、防寒着

*服装は濡れにくいもの（一番外はレインウェア等）が良いでしょう。歩くと暑く、休むと寒いので温度調節のできる重ね着が便利です。

申込方法：はがき、電話、FAXにて次の事項をご連絡下さい。

①お申込のイベント名 ②氏名 ③年齢 ④性別 ⑤住所 ⑥電話番号（あればFAX番号）

⑦集合場所までの交通手段 ⑧この催しを何で知ったのか ⑨レンタルの要否

☆催行人数は5人以上です。応募者が少ない場合は中止とさせていただきますので、ご了承下さい。

2月6日（日）に催行を判断いたします。

☆平成16年11月28日（日）より受付開始です。定員になり次第締め切らせていただきます。

そ の 他

・荒天中止です。荒天が見込まれる場合は、前日に中止のご連絡をします。

・当日の状況によりスケジュールやコース等を変更する場合があります。ご了承下さい。（雪不足のために中止となることもございます。中止は決まり次第こちらからご連絡いたします。）

・予約のキャンセルをされる場合は、お早めにご連絡下さい。

・参加中の怪我などについては基本的に参加者の責任となります。

※レンタル料はスキーセット（板、靴、ストック、スパッツ）¥2000です。

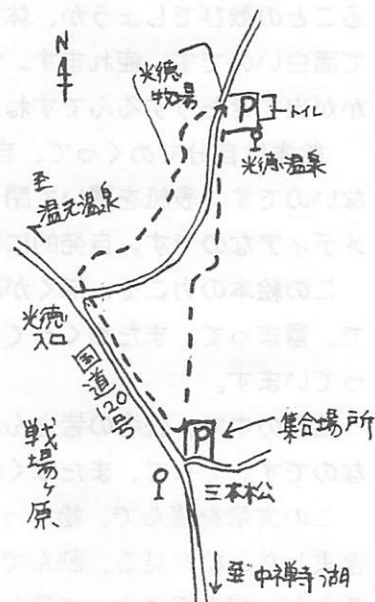
（財）自然公園財団 日光支部

環境省 日光湯元ビジターセンター

〒321-1662 栃木県日光市湯元

TEL 0288-62-2321 FAX 0288-62-2378

<http://www.bes.or.jp/nikko/vc/>



村上康成の絵本の世界 ～絵本を楽しもう！～

絵本作家・村上康成先生のメッセージにこんな文章がありますので、ご紹介します。

『魚釣りが大好きです。その魚たちが健やかに生きる大自然に、汗びっしょりになって身をおくことを、こよなく愛するべくであります。そしてもう一方、チクタクチクタク時を刻む音だけが聞こえているアトリエに、何日も何日も閉じこもることを、これまた愛するべくなのであります。』

釣りも絵本もなかなか思うようにはいきません。ですが、そのアクションそのものに真剣に没頭できることの喜びでしょうか、体も頭もへろへろになって試行錯誤の末、その分のリアクションが必ずあって面白いのです。疲れます。怖いです。そのぎりぎりのポジションでようやく決断したり、ぽこっと何かが出てきたりするんですね。

絵本は自分でめくって、自分なりに眺め、読み、楽しむことのできる世界です。受身のメディアではないのです。表紙を開いて閉じるまで、読者本人のモチベーションで創る、たぐいまれなるアナログのメディアなのです。自発的に己の世界を楽しむことができます。

この絵本の力こそ、ぼくが絵本で表現する魅力なんです。ページをめくって、めくって、眺め、読んで、留まって、まためくって、感じて、考えて、そんな行為の中で、たくさんの可能性を探りたいと思っています。

絵本の中で、読者の皆さんが自分自身のエネルギーを見出し楽しんでいただけたならば、ヤッター！なのです。そして、またぼくはしばらく魚釣りにでかけてしまいます。』

この文章を読んで、絵本って様々な背景から生み出されていて、とても奥が深いものなんだなあと気づきました。絵を見る、読んでもらう、子供と楽しむ、ストーリーが好き、童心に返る、話の内容に感動するなど、読み手によって楽しみ方も感じ方も違います。絵本の世界は、それぞれの人生によって変わっていくものなのだと思います。

大人の皆さんは、だいぶ絵本から遠ざかっていませんか？忙しくて本は読めないという方や、本嫌いの方でも、絵本は気楽にすぐ読めますからおすすめです。村上先生の本は、いろんなタイプのものがありますので、お好みでどうぞ。かわいい絵で癒されますよ。私なんて、自然の案内をするときに、先生の絵や本の力を借りることもあります。

皆さんもお気に入りの絵本を探して、自分なりの絵本の楽しみ方を見つけてみてはいかがでしょうか？
(にった)

⇒ビジターセンターでは、村上康成の絵本から飛び出した愛らしいキャラクターたちのグッズを販売しております。2005年のカレンダーも好評発売中です。どうぞご利用下さい。

ビジターセンターへの寄付 ありがとうございます！

お菓子など：鈴木百合子様

カモンカ資料：吉羽光郎様

中田文子様

古タオルたくさん：斉藤礼子様

竹下幸雄様・重子様

額入り紅葉写真：和氣満男様

イベント写真など：打越雅男様

スーパー袋・古タオルなど：橋田鈴子様

中田真可様

写真たて入り紅葉写真：椎名昭江様

横川信由様

今市市文化祭の本：高橋光様

嶋崎順昭様

タヌキの剥製：大類匡光様



次号は

1月下旬

発行予定です

編集後記

奥日光は冬目前。すっかり葉が落ちた冬枯れの木々の風景も、もう見慣れてしまいました。湯ノ湖の冬のお客さん・カモたちも日に日に数を増してきました。もう、いつ雪が降ってもおかしくない時期。冬タイヤの交換をいつ行うか、ドキドキしながらそのタイミングをうかがっている今日この頃です。